

26	受験番号
中	

社 会

注意事項

1. この問題冊子は8ページまであります。
2. 答えは全て解答用紙に書きなさい。
3. この問題冊子は回収しません。持ち帰りなさい。

以下の文章をよく読んで、問いに答えなさい。

みなさんは普段、学校生活や家の手伝いの合間の自由な時間を、どのように過ごしていますか。多くの人にとって、自由な時間をさまざまな娯楽に使うというのが普通のことではないでしょうか。娯楽は昔から人びとを魅了してきました。例えば歌舞伎は、江戸時代に娯楽として大変人気があり、また現在でも代表的な伝統演劇としての地位を築いています。今日はこの歌舞伎を中心に、娯楽や日本の伝統演劇について考えてみましょう。

日本での演劇の起源の1つと考えられているのは、『古事記』や『日本書紀』にも記されている舞や物真似です。神に対して農作物の豊作を祈ったり長寿を願ったりするための儀式として、また、宴を開いて気分を盛り上げるものとして行われてきたようです。そこへ仏教とともに日本へ伝えられた楽器や衣装、表現技術が取り入れられていきました。このような歌や舞が毎年繰り返されるなかで形式が固定され、伝統として受け継がれていきました。

長い間、人びとは「猿楽」や「田楽」と呼ばれる軽わざや物真似などを楽しんでいました。そのうち猿楽において筋書きのある見世物が考案されました。そして歌や舞を取り入れたものが「能」、言葉遊びや語りを取り入れたものが「狂言」と呼ばれるようになりました。14世紀に観阿弥・世阿弥によって芸が確立していった能が権力者たちに愛された一方、こっけいな動作や当時の日常の言葉を使った台詞で人びとを楽しませた狂言は、能に比べて下品で洗練されていないと見なされていました。その後豊臣秀吉は、各地に存在した猿楽の座(劇団)のうち大和の四座に給料を与えて身分を保証しました。その後、徳川家康も秀吉と同様の政策をとり、さらに猿楽を幕府の儀式で演じるように決めました。

江戸時代が始まった頃、京都で出雲阿国という女性が「かぶき踊り」を披露しました。「かぶく」とは、「人目につくような変わった身なりや行動をする」という意味です。異様な身なりをした「かぶき者」たちを真似して踊ったかぶき踊りが人気になり、これが歌舞伎の起源とされています。しかし、美しく着飾った女性による「女歌舞伎」が全国に広まると、風紀を乱すとして1629年に幕府によって禁止されます。少年による「若衆歌舞伎」も盛んになりますが、同じ理由から1652年に禁止されました。その結果、成人男性による歌舞伎が定着していくこととなります。また、内容も主に歌や踊りを見せるようなものから、筋書きがあり台詞によって進行していく「劇」のようなものへ変化していきました。阿国らがかぶき踊りをはじめから約100年後には、1つの作品にさまざまな役の人物が登場し、何度も場面が変わる長い物語が演じられるようになりました。そのため、役者や演奏者の他に、舞台・衣装などの準備や台本を書く役割も専門的になっていきました。また、この頃には物語の語り、三味線の音、操り人形によって情景や人物の心情を表現する人形浄瑠璃も、民衆の楽しみとして人気がありまし

た。人形浄瑠璃で人気がある作品が歌舞伎に取り入れられることもあったのです。

江戸時代の歌舞伎は、夜明けとともに始まって日没まで演じられていました。人びとは半日にもおよぶ長い時間を飲んだり食べたり休んだりしながら、どのような作品を楽しんだのでしょうか。主として江戸時代の庶民の日常を描いたものが多く作られ、人気がありました。また、江戸時代の歌舞伎や人形浄瑠璃では、基本的に同時代に起きた事件やその人物をそのままのかたちで演じることはせず、過去の時代のみんが知っている出来事や人物名を利用しました。例えば『仮名手本忠臣蔵』という作品は、明らかに赤穂事件*という実際にあった出来事をもとにしていますが、作品中では登場人物の名前は変えられ、室町時代の話だとされました。ところで、人びとはどのような気持ちで歌舞伎を観ていたのでしょうか。以下は、ある女性が江戸時代の末ごろに家族と一緒に歌舞伎を見物した時の思い出を語ったものの一部です。ここからは、歌舞伎を見物することが当時の人びとにとって特別な楽しみだったことが伝わってきます。

著作権の関係上、非表示にしています。

(今泉みね著『名ごりの夢』より。文章の一部をわかりやすくしています)

著作権の関係上、非表示にしています。

江戸時代の歌舞伎の芝居小屋（1858年「踊形容東絵栄」の一部）

そして、都市で発展した歌舞伎や人形浄瑠璃は地方へも伝わっていき、18世紀初めには農村で神社や寺に奉納ほうのうされていました。やがて役者が各地をまわって演じるものから、村の若者が祭礼や盆などの年中行事で演じる地芝居として各地で定着しました。幕府は地芝居を禁止していたものの不十分で、全国各地で盛んに上演されていました。現在でも地芝居が残っている例として、酒田市の黒森歌舞伎、中津川市など東濃地域の東濃歌舞伎があります。

明治時代初めになっても、歌舞伎は民衆の娯楽として続いていました。しかし、政府は、歌舞伎を史実にもとづいた優雅な演劇にしたいと考え、一部の演目を変えるよう促しました。このような政府主導の歌舞伎の改良運動は、当時の外交上の問題解決のため、さまざまなものにヨーロッパやアメリカの要素を取り入れていく政策とも関係していました。政府は、天皇や外国の要人に観劇させて、歌舞伎は地位の高い人が観るものという方向に持っていかうとしたのです。その後も改良運動の刺激を受け新しい演劇も登場し、その人気は歌舞伎に匹敵していました。その1つが新派で、明治時代中頃なかごろから盛んになった政治運動の思想を人びとに広めるために行われました。新派などとの対比で歌舞伎が伝統演劇と位置づけられる一方で、民衆からは少し縁遠いものになっていきました。

第二次世界大戦後、歌舞伎は日本を占領した連合軍当局に規制された時期もありましたが、次第に自由に上演できるようになり、現代小説を演劇化した作品も作られました。その後、人びとの楽しみは多様化していき、それにもなって歌舞伎などの伝統演劇を観る人の数は減っていきます。歌舞伎の方も時代的な変化に合わせてきています。例えば、かつてのような長時間通しでの上演は珍しくなりました。また今でも江戸時代に作られた作品がたびたび上演されますが、西洋の演劇を取り入れた作品や、流行の漫画、アニメ、ゲームを演劇化した作品なども上演されるようになっていきます。インターネットでの歌舞伎の動画配信も行われています。歌舞伎以外の伝統演劇にも新しい試みがみられます。このように歌舞伎など伝統演劇は形を変えながらも、存続のためにより多くの人びとを取り込もうとしているのですが、さらなる時代の流れのなかで難しい局面にさしかかっていることもまた事実です。

* 赤穂事件 赤穂藩主浅野長矩はなしのながのりが江戸城内で幕府役人の吉良義央きらよしなかを負傷させたことに対し、幕府は浅野や赤穂藩に厳しい処分を行ったため、のちに大石良雄おおいしよしおを中心とする一部の旧赤穂藩士が主君の仇討ちを行った事件。

このページには問題は印刷されていません。



図1 歌舞伎の主要な芝居小屋の位置

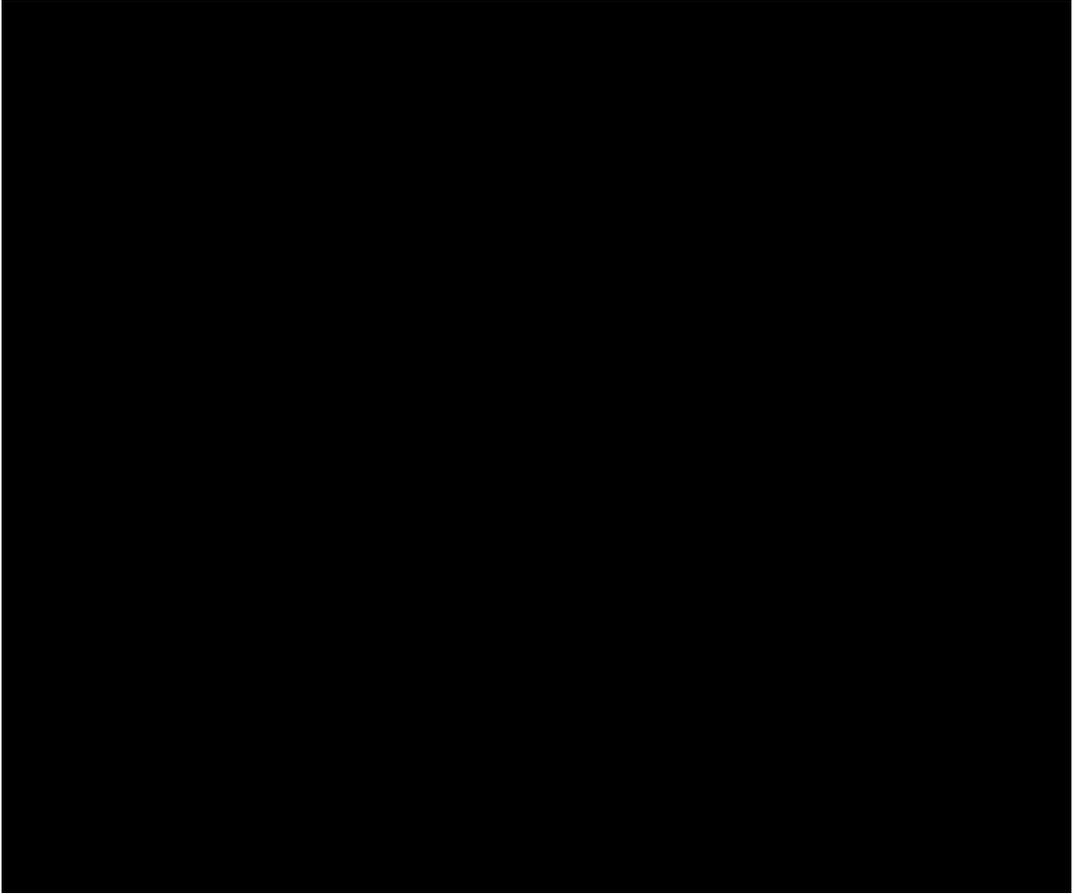


図2 19世紀中頃の浅草寺周辺の絵図
(安政6年 浅草・向島『五千分の一 江戸-東京市街地図集成』の一部)

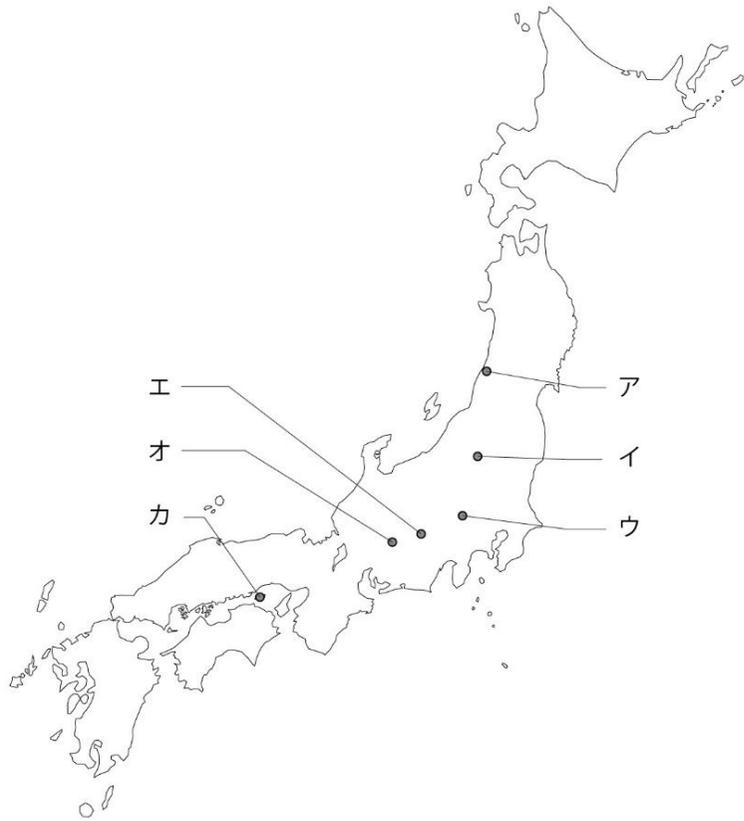


図3 地芝居が今も演じられている主な地域

問1 観阿弥・世阿弥の能を愛したことで知られる室町幕府第三代将軍は誰ですか。

問2 出雲阿国らのかぶき踊りから約100年経った頃、人形浄瑠璃や歌舞伎の作者として上方で活躍し、『曾根崎心中』や『国性爺合戦』などの代表作がある人物は誰ですか。次のア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 井原西鶴

イ. 近松門左衛門

ウ. 松尾芭蕉

問3 歌舞伎が民衆の娯楽として発展したことは、内容や表現にどのような特徴をもたらしましたか。

問4 江戸時代の歌舞伎で、基本的に同時代に起きた事件やその人物をそのままのかたちで演じることをしなかったのはなぜですか。

問5 歌舞伎の主要な芝居小屋は、ぜいたくを禁じる幕府の政策により、1842年に移転させられました。移転先を示した図1と図2を参考に、この場所が選ばれた理由を、幕府の政策と関連させて答えなさい。

問6 黒森歌舞伎は最上川の下流に位置する酒田市、東濃歌舞伎は木曾川中流域の中津川市など東濃地域で上演されています。酒田市と中津川市の位置を図3のア～カの中から1つずつ選び、記号で答えなさい。

問7 歌舞伎の改良運動がすすめられたころ、政府がかかえていた外交上の問題とはどういったものですか。

問8 新派の登場と関係の深い政治運動は何ですか。

問9 娯楽の多様化は、歌舞伎など伝統演劇の継承にどのような問題を生じさせていますか。

問10 インターネット配信や動画サイトの利用は、歌舞伎など伝統演劇の普及と継承にどのような影響を与えているか、利点と課題の両面から説明しなさい。